

＼ 学生の声を社会に届けよう！ ／

奨学金と高等教育に関するアンケート

2020年11月1日(日)～12月13日(日)

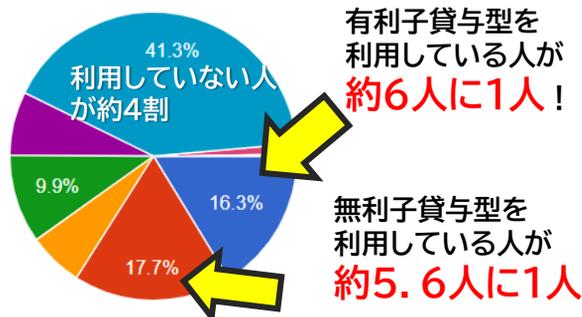
1200件の回答が寄せられました！みなさん、ありがとうございました！

2021年2月8日

アンケートの声から見えてきた4つの願い

1. 学びたい人が学べるような制度にしてほしい
2. 給付型奨学金を拡大してほしい
3. 制度に対する説明の機会を充実させてほしい
4. 学費の減免をしてほしい

どれだけの人が利用してるの？



このアンケートでは、約2.4人に1人が奨学金(有利子or無利子)の奨学金を利用していることがわかりました。給付型の奨学金制度を利用している学生も増えつつありますが、実態としてはまだ給付型奨学金制度自体が少なく、貸与型の奨学金を利用する学生の実態が見えてきました。

奨学金の利用目的は？(2つまで選択可)

1位	授業料を賄うため(73%)
2位	自分のための生活費を賄うため(65.8%)
3位	親に勧められたから(34.2%)

このアンケートでは、奨学金を借りる理由は第1に授業料ですが、生活費を賄うために借りられている点にも注意が必要です。大学に通うためには、学費以外にも諸経費が必要であり、学生に大きな負担を与えています。

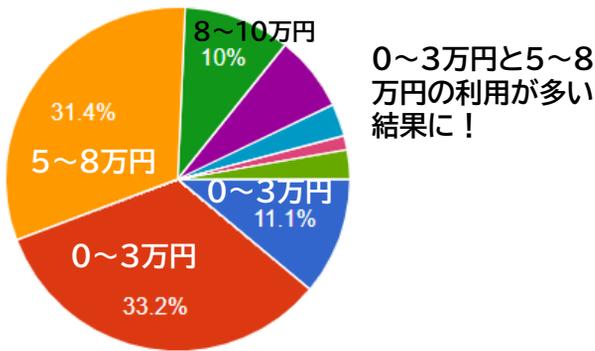
*このアンケートはランダムサンプリングではなく、結果の代表性はありません。ご注意ください。
「学生の消費生活に関する実態調査」や「保護者に聞く新入生調査」の調査方法(全国大学生協連会員生協の組合員から無作為に調査対象を抽出)と異なり、回答数の多い大学や学年があります。

奨学金と高等教育に関するアンケート

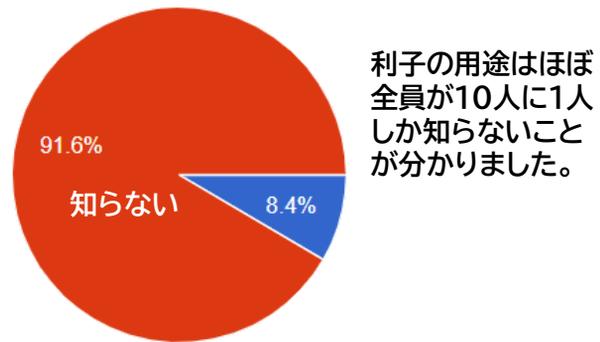
2020年11月1日(日)～12月13日(日)

1200件の回答が寄せられました。詳細は全国大学生協連HPで公開中！

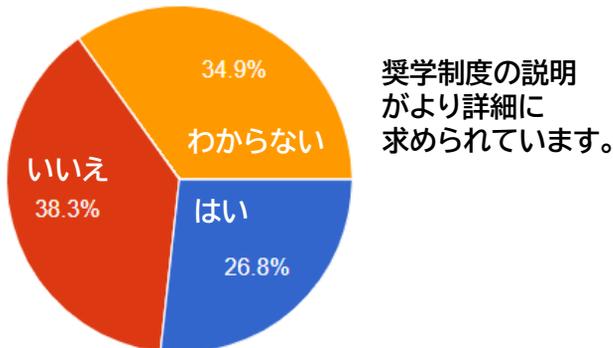
利用額について



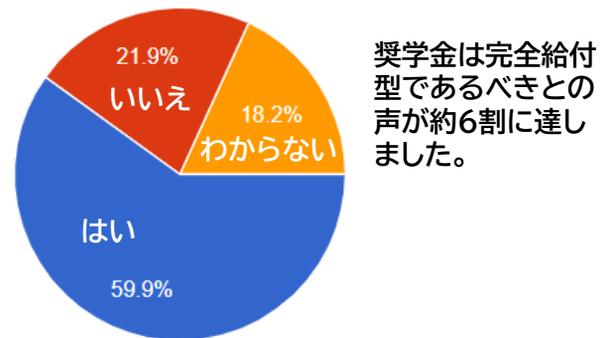
利子の用途について



奨学金制度の説明は十分か？



奨学金は完全給付型であるべきか？



あなたの声が、奨学金問題を変えるきっかけになります！

たくさんの声が寄せられました！詳しくはHPをチェックしてみてください！

自分自身、条件に当てはまらず奨学金を取ることができませんでした。親の収入の高低だけで奨学金の有無や値段が確定してしまうのは仕方ないことだと思う一方で、収入が高いからといって生活に困らないとは限らないのも現状だと思います。(国公立4年制大学1年女性・寮)

お金がないと教育が受けられない今の現状は将来、社会を貧しくするものだと感じる。教育の充実が学問の発展にも繋がるため、制度をより充実させてほしい。(私立4年制大学2年女性・自宅生)

授業料が高額なのに加えて、返済義務があり、社会人1年目から相当な借金を背負っている為、奨学金の無償化とまでは言わないが、授業料の減額を求める(国公立4年制大学4年男性・自宅生)